

西宮市男女共同参画センター「ウェーブ」

平成 28 年度事業報告

(平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月まで)

1. 講座の実施状況	2
2. 広報・啓発活動の状況	10
3. 男女共同参画センター利用統計	11
4. 活動・交流の支援	13

1. 講座の実施状況 (平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月)

主催講座数(A+B)	基本目標		該当する内容
24	I	あらゆる分野での男女共同参画の促進	6
	II	男女共同参画社会を実現する基盤づくり	10
	III	就労における男女平等の推進と環境の整備	9
	IV	人権の尊重と健やかな暮らしのための環境整備	16
	V	安全安心に暮らせる男女共同のまちづくり	6

(1) 主催講座-A

(内容等欄の【 】内は男女共同参画プラン体系表の基本目標－主要課題－施策の方向)

No.	講座・講演会名	実施日	定員	参加者数 (うち男性)	内容等
1	「まったり朝活 ブックトーク カフェ 私のおすすめ教えます」 (原則偶数月、第 2 土曜日)	4/23(土) 6/18(土) 10/15(土) 12/17(土) 2/18(土) 10:00～ 12:00	10	4 (0) 3 (0) 3 (1) 3 (1) 4 (1)	【II-1-①、IV-1-②】 講座形式ではなくワークショップ形式で、あらゆる世代の方に気軽に参加できる安心安全の語り場を作り、男女共同参画センターについて知ってもらおう。テーマを決めて、好きな本やマンガを持ち寄り、語り合う。8 月は対象を子どもにも広げ実施。(No.9) 【評価・分析】 参加人数は横ばいであったが、申し込まなくても参加できる場づくりとして実施した。参加者からの声で次年度は、ブックトークから発展した講座を企画したい。
2	「シングルマザーズ・カフェ」 (原則奇数月、第 2 土曜日)	5/14(土) 7/9(土) 9/10(土) 11/12(土) 1/14(土) 3/11(土) 14:00～ 16:00	10	8 (－) 7 (－) 5 (－) 5 (－) 9 (－) 8 (－)	【IV-1-①、IV-2-①②、II-1-①】 シングルマザー同士、肩の力を抜いて、情報交換するカフェタイム。 【評価・分析】 調停中、仕事・家事・育児の両立、親との同居の葛藤、DV 体験の PTSD など、困難な事情をかかえた参加者が話すことで一時的でも楽になってもらえるよう、参加者自らが場づくりに協力し合えた。参加者が固定されていないのでグループを作るのは難しい。来年度も同じ形式で継続予定である。
3	ひとつじゃない家族の「カタチ」 ①フツーにとらわれない家族の ありかた～結婚・離婚・再婚 講師：菊地真理（大阪産業大学 経済学部教員） ②それぞれが家族～事実婚・非 婚・同性婚 講師：南和行（なんもり法律事 務所・弁護士） ③子どもの視点で見る家族～ス ウェーデンの取り組みから 講師：高橋美恵子（大阪大学大 学院言語文化研究科教員）	5/21(土) 6/4(土) 6/11(土) 13:30～ 15:30	30	18 (3) 29 (9) 16 (4)	【II-1-①②、IV-1-①、I-3-①】 現実には家族形態が多様化しているのに、あるべき家族観に縛られることで、ひとり親や LGBT など標準家族以外の人たちの問題を見えにくくしていないか振り返り、男女共同参画社会実現のために多様な家族の形を理解してもらおう。 【評価・分析】 参加者の年代は 20 代から 70 代まで幅広く、学生の参加者もいた。大学や専門学校と連携がとれないか探りたい。ワークを取り入れたが時間が足りなかった。①は比較的時間が取れてワークができた。アンケートの結果は好評だった。

No.	講座・講演会名	実施日	定員	参加者数 (うち男性)	内容等
4	託児付き上映会 ラストフライデー・シネマ 上映作品（2回上映） ①「フレンチアルプスで起きたこと」 ②「グッドハーブ」 ③「サンドラの週末」	6/24(金) 9/30(金) 2/24(金) I部(午前) 10:00～ II部(夜) 18:30～	35	① I 46 (11) II 30 (11) ② I 52 (5) II 28 (3) ③ I 38 (3) II 20 (5)	【I-3-①、III-1-②、III-2-①、IV-1-①】 人権、暴力、女性、子どもをテーマとした映像作品の鑑賞、参加者の交流を通して男女共同参画社会実現の必要性を理解してもらう。
					【評価・分析】 昨年に引き続き、午前、夜間の2回上映を実施した。解説等のない上映会は、観る人なりの様々な見方ができ、啓発に結びつきにくいケースもあるので、作品選びが重要である。毎回「ウェーブを初めて利用される方」に挙手いただくが、②の午前では1割だったが、夜間では9割だった。午前と夜間では利用する客層が大きく異なる。
5	<男女共同参画週間記念事業> 「男が働かない、いいじゃないか！～仕事中心の生き方を見つめ直す」 講師：田中俊之（武蔵大学教員）	6/25(土) 14:00～ 16:00	50	44 (30)	【II-1-②、II-4-①、III-2-①】 第4次男女共同参画基本計画では「男性中心型労働慣行の見直し」が改定の柱となっている。男女共同参画社会は女性が生きやすいだけではなく、男性も生きやすい社会である。女性の問題と思われがちないイメージを男性の問題でもあると知ってもらう。
					【評価・分析】 非常にわかりやすく、今の状況や男性の生きづらさを丁寧に説明され、ワークライフバランスも含め、男性のためにも男女共同参画社会の実現が重要であることをお話いただいた。参加者の満足度は高く、地域や家庭での居場所作りの必要性、仕事の捉え方の変化など、新しい視点や気づきを感想に書かれている人が多かった。土曜日に開催したこともあり、幅広い年齢層が集まった。時間は少なかったが質問も活発であった。 講師には啓発冊子のインタビューにも応じていただき、講座に参加できなかった方への啓発につなげることができた。
6	～中学生のための出前講座～ 「デートDV防止講座」 ①平木中学校 ②浜甲子園中学校 ③西宮浜中学校 講師：ウィメンズネットこうべ	①7/6(水) 13:35～ 15:30 ② 12/1(木) 10:45～ 12:35 ③ 12/5(月) 13:35～ 15:30	-	①111(58) ②63(31) ③70(34) 計244 (123)	【II-3-②】 若年層のデートDVについて考え、DV問題の予防、啓発を図る。
					【評価・分析】 募集数3校で、応募数も3校だった。配偶者や交際相手からの暴力の問題について考える機会を提供し、正しい知識と理解を深めることができたと思われる。例年応募校が少ないことから教員の関心を高める必要性を感じたため、夏休みに教育研修課と共催し、教員向けの研修も実施した。
7	これから働きたい女性のための 知っておきたいお仕事事情 ①「資格」があれば有利ですか？ ～就職状況から見てみよう 講師：腰野正美（ハローワーク西宮・就労支援ナビゲーター） ②働き方ルールを知っていますか？～いざという時に役立つ知識 講師：水田かほる（ヒューマンアシスト所長・社会保険労務士）	7/8(金) 7/15(金) 10:00～ 12:00	30	19 (-) 14 (-)	【V-2-①②、III-2-①、III-1-③】 就職を考えても不況の中で思っていたような仕事もなく、あせって資格をとろうと思いがちだが、実際の就労との結びつきについてや、自分に合う仕事と資格の関係を考えてもらう。就労先で不利益があった場合に自分を守る知識を得てもらう。
					【評価・分析】 ①で自分の適性と就職市場を考えてもらう。②で労働法、社会保険、税金について知ってもらい、トラブルにあった時に役立ててもらおうという内容で行った。参加者は少なめであったが、好評であった。具体的な就職に関する講座をもっと行いたい。就労支援は現状把握とメンタルサポートをセットに続けていく必要がある。

No.	講座・講演会名	実施日	定員	参加者数 (うち男性)	内容等
8	[夏休み特別企画] 囲碁キッズになろう！～お父さん、おじいちゃんといっしょに、はじめての囲碁教室 講師：囲碁サークルどんぐり ※有料	8/7(日) 10:00～ 12:00	15組	13組 (子17)	【Ⅱ-4-①、Ⅲ-2-①】 男性保護者と子どもが一緒に楽しみ、ウェーブを知ってもらう囲碁教室。囲碁は人間の右脳を使うことにより、人間の感性を育てるといわれている。家族のコミュニケーションにも利用してもらう夏休みの体験型学習。 【評価・分析】 子どもの成長が短時間で目に見えるので男性保護者も満足そうであった。男性保護者と子どもの講座は毎年盛況である。母親が代わりに申し込むケースが多い。男女共同参画センターで毎年、講座を開催しているというイメージが付いてきたように思う。
9	まったり朝活 夏休み、子どもといっしょに「まわしよみ新聞」 講師：ウェーブ情報アドバイザー	8/20(土)	15	1(0)	【Ⅳ-1-①】 夏休みに親子等で「男女共同参画」に興味をもってもらうための新聞を使ったワークを行う。身近なジェンダーの問題への気付きと、メディアリテラシーの感覚を得てもらう。 例年7～8人以上の申し込みがあるが、今年は申込がなく、当日に1人参加とまったく集まらなかった。参加者の満足度は高いワークショップであるのに、広報をもう少し考えたい。
10	本当にそれでいいの？「離婚」を決める前に知っておくこと ①離婚と法律～おおまかな流れと手続きを知る 講師：西部智子(ユノ法律事務所) ②面会交流～子どものために考えてみる 講師：桑田道子(Vi-Project)	① 10/7(金) ② 9/29(木) 10:00～ 12:00	30	①16(－) ②14(－)	【Ⅳ-1-1、Ⅳ-2-1】 離婚を考えている女性に、情報を整理し冷静に決断してもらうための講座。法律解釈、調停制度等について学習し、離婚後の再出発を支援する。 【評価・分析】 ①の法律講座が台風のため順延したので参加者が減ってしまった。法律と離婚までの流れを丁寧に説明していただいた。質問をあらかじめ書いてもらい、弁護士に話してもらう形式は好評だった。「面会交流」については、問題が多くこれから行政やNPOなどが支援せざるを得ないことになってくると思われる。継続的にこの分野の講座は必要だと思った。離婚は年齢によって問題点が違うし、法の判断も微妙に変わっている。講座の組み方をさらに工夫したい。
11	夏の疲れを持ちこさない～働く女性のためのお灸講座 講師：小池まき子(まき鍼灸院院長) ※有料	9/24(土) 14:00～ 16:00	20	19(－)	【Ⅳ-3-①】 職場のクーラーやパソコンの作業により体調を崩している女性のためのセルフケア講座。手軽にできるお灸を通して自分の体に興味を持ってもらい、不調に備える知識を持ってもらう。 【評価・分析】 昨年同様に好評で、申し込みを断ることとなった。リプロダクトヘルスの観点からも女性が自分の身体について知り、ケアしていける講座を継続する必要性を感じた。アンケートから土曜日なので出席できたという声があり、働いている女性向けに土日や夜間に行う講座も増やしていきたい。

No.	講座・講演会名	実施日	定員	参加者数 (うち男性)	内容等
12	熟年離婚を考えるととき～ずっとこのままでいいのかな？結婚のリスク、離婚のリスク 講師：加藤伊都子（フェミニストカウンセリング堺）	10/6(木) 14:00～ 16:00	20	22（－）	<p>【IV-2-①、IV-3-①、II-1-①】 結婚後20年以上や、子どもが大きくなってからの離婚を考えている人が多い。法律だけでは、自分の離婚について整理できないと思っている参加者に自分の考え方を見つめ直してもらうヒントをお話いただく。</p> <p>【評価・分析】 昨年度までの事業の検証により、同じ離婚でもテーマで世代を分けて企画したことに効果を感じた。講師から離婚を選択するかどうかにかかわらず、自己主張のトレーニングが必要とお話された。年明けにカウンセラー企画の「自己主張トレーニング」(No.16)の案内もすることができた。</p>
13	<「女性に対する暴力をなくす運動」週間記念事業> メッセージをアートにしてみよう！～モノクロ画像と色文字を使った”カッコいい”ポスターづくり 講師：中西美穂（アートマネージャー/オフィス・バッテラ主宰） ※有料	11/20(日) 11:00～ 16:00	15	6（2）	<p>【IV-1-②、IV-2-①】 「女性に対する暴力をなくす運動」週間を記念してポスター作りを行い、期間中に展示する。コラージュの手法を使い、絵が苦手な人でも参加しやすいワークショップにし、暴力について考えてもらえる機会とする。</p> <p>【評価・分析】 人それぞれの思いが伝わるバラエティに富んだ作品ができた。「暴力」のイメージがさまざまであることが共有でき有意義だった。アート講座は感覚ででき、理解が深まるので続けたいが集客方法が今後の課題である。</p>
14	<「女性に対する暴力をなくす運動」週間記念事業> さまよう女の子たちと「暴力」～無関心ではいられない！ 講師：橘ジュン（NPO法人 bond Project 代表）	11/26(土) 13:30～ 15:30	40	24（2）	<p>【IV-2-①、V-2-①、III-2-①】 若年女性への暴力はデートDV・ストーカー、いじめや親からの虐待、モラハラ、ネグレクト、性被害、面前DVなどさまざまである。居場所がなくなり大人から見えない危機の中で相談できない状態にいるという実情はほとんど理解されていない。非行少女、貧困家庭という枠組みだけで見るのではなく、広く、「若年女性をとりまく暴力」について考える。</p> <p>【評価・分析】 被害にあっている若年層女性に対しては性産業などトラブルに巻き込まれないために早期の支援が有益な方法だが、現状では支援者が少なく、相談できる場所も少ないということを知り、何かできないかと考える人が多かった。また、当事者もおり、講師に励まされていた。</p>
15	【出前講座】 西宮市立西宮東高等学校 「現代日本の諸課題と男女共同参画社会について」 講師：ウェーブ情報アドバイザー	1/24(火) 14:10～ 15:15	—	41（20）	<p>【II-3-②】 人文・社会学科コース1年生を対象に例年実施。若年のうちから自身を取り巻く社会の諸問題に向ける目を養う。</p> <p>【評価・分析】 男女共同参画社会の実現の必要性と世界の流れと取り組みの遅れ等を事例、統計、動画で説明した。1回限りで、何をどこまで伝えるかが難しい。</p>
16	相手とわかりあえる『自己主張トレーニング』（2回連続講座） ①自分も相手も大切に自己主張して何だろう ②率直な気持ちを爽やかに表現してみよう 講師：加藤伊都子（フェミニストカウンセリング堺）	1/25(水) 2/1(水) 10:00～ 12:00	20	24（－） 23（－） 延人数 47（－）	<p>【IV-2-①、IV-1-①、V-2-①】 生活の中で他者の気持ちを優先するよう育てられている女性たちは、言いたいことも言えず問題を悪化させてしまうことが多い。自尊感情を高め、率直な気持ちの伝え方を学ぶ。</p> <p>【評価・分析】 「自己主張」するには、自分の気持ちを把握する必要があるが長い間の刷り込みや思い込みにより自分の気持ちを把握できないことが多い。かなりのトレーニングが必要で、受講者からのアンケートでも、回数を増やしてほしいという要望が多かったためまた企画を検討したい。</p>

No.	講座・講演会名	実施日	定員	参加者数 (うち男性)	内容等
17	女性のための“みんなで語ろう会” 「どうにかしたい！夫との関係～どうして一緒にいると苦しいの？会話が成立しないのはなぜ？～」(5回連続講座) 講師：ウェーブ女性のための相談室カウンセラー	2/6、13、 20、27、3 /6(月) 10:00～ 12:00	10	8(－) 5(－) 6(－) 6(－) 7(－) 延人数 32(－)	【IV-1-①、IV-2-①、IV-3-②】 同じ悩みを持つ人同士で、語り合い支えあいながら、女性が抱える悩みの解決の方向性を探ってもらおう。相談室カウンセラーから男女共同参画の視点に基づいた考え方を手引きし、参加者に、性別役割分業意識に捉われない観点で自分の悩みについて整理してもらおう。 【評価・分析】 家族の理想像が現実的に妥当なのか参加者同士がお互いに考えあった。家族・夫婦関係はあり方が様々であることや本当に良い関係について、自分らしさをどう守るのかなど、気づきの多い語り合いを持つことができた。
18	「ブラック」な職場って何だ？ 逃げることは恥ではない～つぶされない・つぶれない働き方 講師：橋口昌治(立命館大学生存学研究センター客員研究員)	2/11(土) 13:30～ 15:30	40	26(10)	【III-2-①、IV-1-①】 長時間労働・パワハラ・セクハラなどの問題が起きていても現実にはなかなか辞めることができない。しかし、過労死・自死、病気を引き起こし、「ブラック」と言われる労働環境は、誰もが自分らしく生き生き暮らせる社会とは程遠い。若者の労働実態にも詳しく労働相談の活動をしている講師を迎えて、現状と対処について学ぶ。 【評価・分析】 市内4大学にポスター掲示等依頼し、会場は大学交流センターで実施した。ウェーブの講座に初めて参加される方や男性参加者が多かった。実際に辛い経験を持つ参加者もいた。アンケートでは現状や相談の仕方がわかりよかった。という内容が多かった。労働の問題は、形やターゲットを変え、引き続き企画していきたい。
19	男性のための 親の終活を支える会話のコツ～ 傾聴でいい関係を作る 講師：栗野真造(介護福祉士)	2/22(水) 18:30～ 20:30	15	16(16)	【V-1-②、II-4-①】 老親にエンディングについての考えを聞くのは身内でも難しい。急に倒れたとき、医師に話す病歴についても、本人から話を聞いていないと適切な判断ができない。親との会話をスムーズにするためのテクニックを身につける。 【評価・分析】 男性が親と向き合いにくい原因を男らしさや、生き方が仕事中心になっていることなどと関連づけて説明された。平日夜の男性向け講座だったが定員超えだった。関心のある内容なら参加してもらえることがわかった。引き続き男性向け講座を継続し定着させたい。
20	女性のためのぼちぼち始める 「小商い」講座(全3回) 講師：西村和代(カラーズジャパン(株)代表取締役) ※有料	2/23、3/ 2、9(木) 14:00～ 16:00	15	15(－) 13(－) 11(－) 延人数 39(－)	【III-1-③、III-2-1,2、V-2-1、V-2-2、I-1-①】 仕事を持つことは会社に雇用されるだけではない。自分の得意な分野で事業を考えている女性向けの起業講座。募集対象者を資金もなく小さく始めたい、仕事になるか不安に思っている人に特化し、一歩でも前に進めるようサポートする。 【評価・分析】 ほとんどの方があいまいな動機で参加していたが、宿題をこなし、3回出席していく中で自分の方向性を見つけることができた。いきいきフェスタと同時開催する「小商いチャレンジショップ」への申込が講座終了後にあり、当初の講座の目的のひとつを達成できた。
21	身体と心を整える呼吸法～深い呼吸でココロもカラダもスッキリ 講師：永里美穂(ヨガインストラクター) ※有料	3/11(土) 10:30～ 12:30	20	20(－)	【IV-3-1、IV-3-2】 女性のためのメンタルヘルス講座。浅い息は体や心に好ましくない影響が出てくる。また、呼吸と自律神経は深い関係にある。呼吸法を習うことで自分の身体状況について考えてもらう。 【評価・分析】 参加者の中にはヨガと勘違いされていた方や身体をすぐに動かさずと思っていた方もおられた。講座内容に誤解のないよう広報に努めたい。

No.	講座・講演会名	実施日	定員	参加者数 (うち男性)	内容等
22	ひとりの「老後」を笑顔で暮らしたい！～つらいしんどいを楽しみに変えるサポート ありますか？ 講師：野崎ジョン全也（「NPO 法人ひとり暮らし高齢者の笑顔をつくる会」理事長）	3/18（土） 14:00～ 16:00	30	36（8）	【V-1-1、V-2-①②、IV-1-1、I-2-②】 ひとり暮らしの高齢者が安心して暮らせる地域について考え、地域を活性化するコミュニティ・ビジネス、最後まで尊厳を持って生きられる社会には何が必要か考える。 【評価・分析】 関心が高いテーマのためにすぐに定員を超えてしまった。後見や身元引き受けの相談先が分からず不安だった参加者は講師からの情報や参加者同士の語り合いで不安を取り除くことができた。

（2）主催講座-B【活動推進グループ参画事業（ウェブきらっと★カフェ）】

No.	講座・講演会名	日時	定員	参加者数 (うち男性)	内容等
23	「がんばるママじゃられない！」 講師：子育てネットワーク西宮 (ウェブ活動推進グループ) ルミエール (ウェブ活動推進グループ)	5/30(月) 10:00～12:00	15	11（－）	【II-4-②、III-2-②、I-2-①②、IV-3-②】 今回で3年目。西宮市で子育て中、これから子育てを始める人たちにウェブを知ってもらうための「おしゃべり会」。登録団体の子育て関係の活動をしているグループにファシリテーターを依頼。参加者には子どもを預けて自分の時間を持ってもらい、子育ての不安や悩みの相談や情報交換だけではなく、これからの自分自身についても考えてもらう。
24	「転勤族の妻から転勤族の妻たちへ」 講師：転勤族の妻たち (ウェブ活動推進グループ)	6/16(木) 10:00～14:00	20	11（－）	【I-2-①②、III-1-①】 関西に転居してきた女性にウェブの存在を知ってもらい、子育てや生活の情報交換を通して、ネットワーク作りを図る。 参加者は同じような状況の人と出会え、話すことでエンパワメントされたようだった。男性は職場、子どもは学校と居場所があるのに対し、女性は孤立しがちであり、情報を求めている。男女共同参画センターを利用してもらうためにも継続していきたい。
【評価・分析】 活動推進グループの育成、市民から市民への啓発にもなることから活動推進グループと共催した講座は続けていきたい。市民参画の推進においても意義がある。					

（3）市民参画事業

No.	講座・講演会名	日時	定員	参加者数 (うち男性)	内容等
25	委託事業 第17回いきいきフェスタ	10/22（土） ～30(日)	—	23 団体 932 名 27 企画	男女共同参画センター活動推進グループ有志等を中心として構成する実行委員会方式により実施。 各参加団体が男女共同参画に関するテーマに沿った講座や展示発表を行う。
26	ネットワーク委員会企画講座 「しきたり」にしぼられず、スッキリ生きる～「家制度」を考える 講師：源淳子（女性学研究者、関西大学人権問題研究室委嘱研究員）	2/25（土） 13:00～15:00	30	34（3）	個々の家の事情の中で、家制度に絡むしきたりや慣習がある。これらの問題について「宗教とジェンダー」の視点から話を伺う。 【評価・分析】 講座終了後に、複数の参加者から、もっと知りたい、テーマに関する語り合いをしたい、とてもよかった等声をかけてもらえ、参加者の満足度は高かった。ネットワーク委員は2名だけでの開催となったが、積極的に参画され、司会、受付等、問題なく運営ができた。

(4) 市民企画講座

No.	講座・講演会名	日時	定員	参加者数 (うち男性)	内容等
27	多文化共生社会 難民 ①ドキュメンタリー映画「身分証明のない難民」上映とお話 ②子どもたちの居場所～“こどもの里”とわたし	8/27(土) 9/3(土) 13:00～15:00	50	33 (13) 47 (13)	グローバル化が進む社会において、多くの隣人が存在し、その隣人の問題を知ることにより、多文化共生が実現する。多文化共生の理解が深まることで共に支えあう地域の育成を目指す。 企画団体：one village one earth (ウェーブ活動推進グループ) 講師：①ガビ・ジャンマル (ジャーナリスト) ②大谷純 (“こどもの里” OG)
28	カンボジアの大地に輝く笑顔を～地雷原の村の復興とその軌跡～	10/2(日) 13:00～15:00	40	30 (9)	カンボジアで地雷処理活動をするにあたり、住民参加型地雷処理チームを作り、女性を多く雇用している理由やカンボジアの現状について知ってもらう。 企画団体：カンボジアフレンドシップアソシエーション 講師：地雷処理専門家 高山良二 (NPO法人国際地雷処理・地域復興支援の会理事長)
29	LGBT って、知ってますか？ ①アライって、何？～あなたも今日から支援者になろう！ ②好きな人と家族になりたい	11/6(日) 1/8(日) 13:00～16:00	50	28 (15) 41 (23)	LGBT など多様な属性を持つ人が、いきいきと生きられる社会づくりのために、これから自分のできることを考えるきっかけをつくる。 企画団体：Cielarko 講師：①白方昌秀 (淀川区元 LGBT 支援担当) ②小野春 (「にじいろ家族」代表・LGBT ファミリーの集まり)
30	男性のための機織り体験 自分に家族にオリジナル手作りプレゼント	11/13(日) 11/27(日) 14:00～16:30	10	9 (9) 9 (9)	「対等」「尊重」「共生」「自然(ありのまま)」を、機織りをしながら体験学習する。 企画団体：プレラかだるべ (ウェーブ活動推進グループ) 講師：城哲也 (NPO さをりひろば 事務局長：男性手織り作家)
31	みんなで子育てを語ろう！アイリッシュハーブ・コンサート	12/11(日) 13:00～15:00	20組	29 (6) 15組	音楽療法効果の高いアイリッシュハーブのコンサートで心を解放した上で、世代・立場をこえて皆で「子育て」についての思い・考えを分かち合う。 企画団体：ルミエール (ウェーブ活動推進グループ) 講師：アイリッシュハーブ奏者 みつゆき
<p>【評価・分析】</p> <p>市民による着眼点、市民ならではの企画の斬新さ等を市政に活かす市民参画型の事業。</p> <p>平成 27 年度末に実施した主催講座「『やってみよう！』をかたちに 参加したくなる講座作り塾」の成果もあり、応募数が増加し、質の高い企画を採用・実施することができた。集客に関しても、各グループが自身のネットワークを活用するなど工夫し、普段ウェブを利用しない市民にも啓発できた。テーマとしても、幅広い分野の講座を実施できた。</p>					

(5) 連携事業

(平成 29 年 3 月現在)

No.	講座・講演会名	日時	利用者数 (人)	内容等
32	しごとサポートウェブにしきた	平成 25 年 10 月開設	来所者数 7,824	市と国との一体的実施事業として、ハローワーク西宮のサテライトを設置。主に女性の就労支援に係る相談事業、職業紹介、就職支援セミナー等の共催事業を実施する。男性の利用も可。
33	若者サポートステーション (西宮北口サテライト)	平成 25 年 5 月から実施 毎週月・木曜の午後	相談件数 154 相談枠 356	常設本部は勤労会館。15～39 歳の若年無業者 (ニート) の職業的自立支援を行う厚生労働省委託事業。 所管：西宮市労政課 運営：特定非営利活動法人こうべユースネット
34	学習支援事業	平成 25 年 8 月から実施	参加人数 828	被保護世帯児童等への学習支援。主に中学 3 年生の高校進学を目指し、カウンセリング、養育相談も行う。 所管：西宮市厚生第 1 課 運営：関西学院大学

(6) 共催事業

No.	講座・講演会名	日時	定員	参加者数 (うち男性)	内容等
35	【教育研修課共催】 健康教育研修 「デートDVを予防するために」「LGBTの子ども支援」	8/3(水) 13:15～14:45	—	93(4)	小中学校の養護教諭対象の研修会のうちの科目として実施 講師：徳永桂子(ウィメンズネット・こうべ)
36	【兵庫県立男女共同参画センター共催】 出張！女性のための働き方セミナー 「シングルマザーのためのスマイル de 新生活！～わたしと子どものこれから計画」	10/11(火) 10:00～12:00	10	3(—)	シングルマザー対象に離婚後のライフプランについて考えてもらい、参加者同士の情報交換と、エンパワメントを図る。 講師：中野冬美(産業カウンセラー、キャリアコンサルタント)
37	【兵庫労働局共催】 マザーズ就職支援セミナー 「働くためのママの時間管理術～仕事と家庭と子育てと～」	10/12(金) 10:00～12:00	20	10(—)	子育て期からの再就職を目指す女性の就職支援。 講師：ハローワーク就職支援ナビゲーター
38	【兵庫労働局共催】 女性のための就職支援セミナー	11/11(金) 10:00～12:00	20	23(—)	応募書類の書き方を学ぶ 講師：ハローワーク就職支援ナビゲーター
39	【研修厚生課】 男女共同参画講演会 「女性の登用とダイバーシティ～男女共同参画の視点で考える～」	1/31(火) 13:30～15:30	93	74(52)	女性の登用の必要性を学び、積極的な改善措置を行うきっかけとしてもらう。また、職場における人材の多様性(LGBTなど)を理解する。 講師：牟田和恵(大阪大学大学教授)
40	【中央公民館共催】 「託児ボランティア養成講座 子どもとの出会いを楽しみに～子育てに大事なボランティアの力」	2/8(水) 10:00～12:00	40	23(2)	主催講座等の開催時に、託児を担う市民ボランティアの育成。 講師：福井聖子(千里金蘭大学 客員教授、元小児科医)
41	【研修厚生課】 男女共同テーマ研修 「仕事と生活の調和が未来を変える～女性も男性もあらゆる場面で活躍するために～」	2/13(月) 13:30～15:30	70	52(38)	女性活躍推進法が施行されている今、男女が共にあらゆる場面で活躍できる環境づくりについて考え、仕事と生活の調和を図りながら、組織の協働意識を高めることを目指す。 講師：治部れんげ(ジャーナリスト・東京都男女平等参画審議会委員)
42	【兵庫労働局共催】 女性のための就職支援セミナー	2/27(月) 3/3(金) 10:00～12:00	20 16	21(—) 20(—)	応募書類の書き方、面接の受け方等、実践的マニュアルによる就職支援。 講師：ハローワーク就職支援ナビゲーター

2. 広報・啓発活動の状況

No.	広報媒体名	資料名・内容等	内容・規格等	活動エリア等
1	西宮市政ニュース	男女共同参画センター主催講座等の開催について掲載	—	市内
2	西宮カルチャー・イベント・カレンダー	男女共同参画センター主催講座等の開催について掲載	—	市内
3	労政にしのみや	市の労働関係広報誌に男女共同参画関連の啓発等内容を掲載	労政課（発行：年4回）2,500部 A4、8ページのうち1ページ分	従業員50人以上の市内事業所、労働関係団体
4	一般新聞、コミュニティペーパー等	男女共同参画センター主催講座等の開催について掲載を依頼	—	市内
5	インターネット	事業開催ごとに随時、西宮市ホームページに広報記事を掲載	主催事業について、募集中のものしか掲載していなかったが、過去の事業についても掲載するように修正した	—
		ウェブ独自の公式フェイスブックを3月中に開設予定	講座、相談の空き状況、図書の紹介等を週3回程度投稿する。	
6	啓発用垂れ幕	「男女共同参画週間 6/23～29」啓発用垂れ幕	500cm×70cm 1枚 展示期間：6月16日～6月30日	本庁舎正面玄関横に設置
7	情報誌	「WAVE PRESS」 Vol.19（3月発行予定）	A3 両面2折 5,000部	市内及び近隣他市等配布
			「ネットワーク委員会」市民公募による編集（年1回） 人数：2名、任期：2年（平成27～28年度）	
8	啓発誌	啓発冊子「男性問題」（3月発行）	A5. 16ページ 5,000部	市内及び近隣他市等配布
9	パネル展 作品展示	男女共同参画週間パネル展	男女共同参画啓発パネルの掲示 展示期間：6月中旬～6月末	男女共同参画センター
		セクシュアリティは多様です—LGBTについて—	LGBT啓発パネルの掲示 展示期間：1月上旬～2月末	
10	啓発カード	「DV防止連絡カード」	名刺サイズ 5,000枚	市内各所
11	関連図書・チラシ パンフレット展示	西宮市女性チャレンジひろば	再就職、起業に関するチラシ等情報資料配架（常設）	男女共同参画センター

3. 男女共同参画センター利用統計

○女性のための相談室

相談件数（平成28年4月～平成29年3月末現在）

区分	件数	内 訳											
		生き方	こころ	からだ	仕事	夫婦関係	親子家庭	人間関係	性・性的被害	暮らし	DV	セクハラ	その他
電話相談	521	37	66	9	7	55	142	94	1	9	42	1	58
		生き方	こころ	からだ	仕事	夫婦関係	親子家庭	人間関係	性・性的被害	暮らし	DV	セクハラ	その他
面接相談	787	147	78	1	18	188	159	48	11	4	120	6	7
		生き方	こころ	からだ	仕事	夫婦関係	親子家庭	人間関係	性・性的被害	暮らし	DV	セクハラ	その他
法律相談	56	16	24	13	6	0	4	25	8	0	5	1	11
		慰謝料	財産分与	親権等	扶養	戸籍	金銭貸借	調停・手続き	DV	セクハラ	モラハラ	性暴力	その他

※法律相談は相談内容が複数の内訳に該当する場合があるため、件数と内訳の合計が一致しないことがある。

※「夫婦関係」のうちDVに関するものは「DV」で集計している。

区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
電話相談	人数	519	503	549	551	521
面接相談	人数	832	879	865	859	787
法律相談	人数	53	52	55	47	56

○女性のためのチャレンジ相談

相談件数（平成28年4月～平成29年3月末現在）

内容等	実施日		相談件数	相談員
	市費	県費		
再就職・起業・その他方面へのチャレンジを旨とする女性を支援する。相談によって適切な支援機関の紹介、希望職種に必要なスキルの取得をアドバイスする。	第2火曜日(奇数月) 第1土曜日(偶数月) 午前・2回	第3水曜日 午後・3回	32	キャリアカウンセラー 中野冬美

○図書・資料コーナー

図書（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月末現在）

累計登録者数 （人）	新規登録者数 （人）	貸出人数 （人）	貸出冊数			
			図書	雑誌	ビデオ・DVD	計
3,483	118	911	1,618	186	253	2,057
	月平均	76	135	16	21	172

蔵書数（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月末現在）

図書	雑誌	ビデオ・DVD	計
5,781 冊	1,041 冊	303 本	7,125

情報相談（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月末現在）

	ウェブ 利用案内	資料の 所蔵・所在	特定の テーマ	企画・人材	グループ・施設	その他	計
件数	18	25	18	20	12	19	112

○学習室

年度別利用状況（過去 5 年間）

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
件数	4,439	4,280	4,029	3,983	3,877
稼働率	82.4%	79.5%	74.8%	73.8%	72.0%

月別利用状況（平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月末現在）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
件数	321	332	339	355	309	326	357	318	273	304	330	313
稼働率	71.3%	71.4%	75.3%	76.3%	66.5%	72.4%	76.8%	70.7%	65.0%	72.4%	78.6%	67.3%

4. 活動・交流の支援

西宮市男女共同参画センター活動推進グループ（平成 29 年 3 月末現在）

登録グループ数 36 グループ

No.	グループ名	活動内容
1	悠&遊 ノート de パソコンサークル	ノートパソコンを持参し、操作、活用法を粘り強く学習することで、男女とも、中高年のテクノデバイドの解消をめざす。
2	女・女西宮	女性差別の解消・女性問題の学習と行動。ビデオ上映会の開催。
3	ガールスカウト西宮市協議会	市内のガールスカウト運動の推進と発展の為に活動する。①団の育成並びにリーダーの養成②市内各団体との連絡調整③ガールスカウト運動に関する啓発広報活動④未来を担う少女たちの育成活動を支援。
4	現代を問う会	現代社会で起こる様々な問題を、社会的な視点から考え意見を交換する。男女が共通の基盤で問題の解決をはかる。
5	子育てネットワーク西宮	「一人じゃないよ、楽しもう子育て」をモットーに西宮市内の子育て中の親が集まり、親子遊び体験から親子の友達づくり、子育てサークル、地域サポーター、行政とのつながりを支援している。
6	ジャスミン	女性への暴力のない社会をつくるための学習会、講座の開催を行う。
7	新日本婦人の会西宮支部	女性の地位向上のための学習活動。
8	転勤族の妻たち	「転勤族」という独特の生活スタイルの中で、孤立しがちな同じ悩みを抱える女性たちのネットワーク作りを目的としている。
9	西宮市地域婦人団体協議会	婦人の地位向上と地域社会の発展に資する。人権問題学習等。
10	西宮女性ネットの会	女性に対する政策について学習、研究し活動する。
※11	西宮市連合婦人会	市内地区婦人会の連絡協調、進歩向上、社会の発展及び人権問題学習等。
12	西宮母親大会連絡会	”生命を生み出す母親は、生命を育て、生命を守ることをのぞみます”のスローガンのもと、平和や教育、福祉、環境、子育てについて学習している。
13	西宮ユネスコ協会	「世界遺産活動」と「世界寺子屋活動」を中心に平和をめざす運動を行う。発展途上国には文字の読めない女性がまだまだ大きな比率を占めている。ユネスコではこの人たちの支援に力を入れている。
14	婦人民主クラブ阪神支部	女性の権利を守り、地位向上を図る。また、子どもと女性の幸せを守るために戦争をなくすよう力をつくす。
※15	船出（Funade）	男女共同参画の視点で子育て仕事、家庭について情報発信、エッセイ集、新聞の発行を行う。
16	ベアテの会	個人の尊厳を基本として、男女平等、平和主義などを学習し、市民に広く広報しつつ男女共同参画社会をすすめる事を目的とする。
17	木馬の会	女性が手作りを通じ、社会参加・自己実現・経済的自立をめざす。ボランティア等の社会活動への取り組み、仕事作りへの取り組み、女性のエンパワーメントとネットワーク作りへの取り組み、自然災害基金などによる社会貢献。
18	蓮華草	ドメスティック・バイオレンスに悩む女性たちの話し合いの会
19	男楽会	男性が、自分らしく楽に生きるきっかけ、地域に生きる新しい自分を探すヒントをつかむため、諸問題について自由に語り、楽しい仲間作りをする。毎月1回例会を行い、テーマその他について語り合う。
20	西宮市男女共同参画センター”ウェーブ”活動推進グループ協議会	登録グループ相互のつながりを広める。行政へ男女共同参画施策の充実をはかるよう提言し行政と良いパートナーシップを築く。

No.	グループ名	活動内容
21	「婦人民主クラブ」阪神読者会 ーたんぼぼの会ー	「婦人民主新聞」を共に読んだり、お互いの仕事や生活の悩みを話し合う。反戦平和や女性、子どもの権利向上のための学習会や地域活動なども行う。
22	I T C 西宮クラブ	女性が社会で活躍するために必要な基礎的な訓練を行うことを目的とする。リーダーシップ、組織運営、特にスピーチの訓練等。
23	ルミエール	産後うつ・マタニティブルーの経験者の仲間作り・支えあい・情報交換を行う自助グループとして、出産・育児・家庭運営における男女共同参画を考えていく。
24	プニ・ポエ	フラダンスを通して女性の社会参加、自己実現、地域活動への参加、ボランティアへの参加を実行する。
25	3月行動をよびかける女たち・ひょうご	仕事や暮らし・健康の悩みを話し合い、平和や女性・子どもの権利を守るための学習及び地域への呼びかけを行い、会員の親睦をはかる。
26	朗読シアター 凜々	朗読の勉強及び朗読劇の発表による女性のエンパワーメントの促進を図る。
※27	つなぐ	男女共同参画社会の実現に向け、県の施策に協力して、情報収集・提供、(講座など)事業の企画・運営を通じて普及啓発、グループ活動などの活動を推進する。
28	絵がお	絵本とのかかわりを深めたいと思っている人たちが、絵本の読み聞かせを通して子どもたちが心豊かに成長していく手助けをするための活動をおこない、人権の尊重と人材の育成を目指す。
29	アットホームホスピス	男性介護者を支援する活動を行う。 家庭介護と家での看取りを支援する活動を行う グリーフケアについて学習する。
※30	特定非営利活動法人阪神パソコンネット	障害者や高齢者に対して、生活支援及び社会参画促進に関する事業を行い、情報リテラシーの向上促進、障害者・高齢者と地域住民との交流促進によって、みんなで支え合えるまちづくりの構築に寄与する。
31	朗読の会・WA	自分を知り、型にとらわれない、自分にあった朗読表現によってエンパワーメントを促進し、男女共同参画社会の実現をめざす。
32	特定非営利活動法人 one village one earth	障がい者や発展途上国の生産者、主に女性の手仕事に正当な対価が支払われるフェアトレードの推進、男女、障がいの区別なく生きられるフェアで豊かなコミュニティを作るための学習・研究・啓発活動。
33	ル・レーヴ	男女共同参画社会を実現するためにイベントや講座等をプロデュースする人材を育成する。学習内容は、イベントや講座を実施するために必要なスキルを相互に学ぶ。
34	プレラかだるべ	うつの当事者と支援者とうつの家族や友人を持つ人が一堂に会して、お互いの経験を聴き合う。
35	カルドマーニ	未熟児子育て経験者の仲間作りや支え合いの中で、毎月1回集まり、子どもの発達状況や病気時の対応、医療機関や幼稚園等の情報交換を通じて、お互いの不安を解消し、前向きに子育てに取り組む。
36	阪神つばめ学習会	収入格差など色々な問題で勉強したいのに勉強できない子ども達に、無料で勉強支援を行い、子育て環境の整備や子どもたちの自立心を育てる。

※は平成 29 年度継続しないグループ

→平成 29 年 6 月 1 日現在 32 グループ